

# パラアート国際交流事業

公益財団法人 日本チャリティ協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-19中沢ビル4階

## 助成事業の概要

パラアート国際交流活動事業は、障害者の芸術・文化活動の国際交流を発展させるための事業です。

現在、障害者アートへの支援は、半世紀にも亘り先進諸国を中心に組み込まれてきましたが、その分野を網羅する呼称は無く、その支援グループの連携を図る活動の交流拠点となる国もまだありません。

当協会では、2020年に東京オリンピック・パラリンピック開催に併せて「2020パラアートTOKYO（仮称）」国際交流展を企画しており、その実現に向けた基礎づくりに併せて、この活動を継続して行うことにより、障害者の芸術活動の国際交流を促進させ、障害を持つ人も持たない人も、共に生きる社会を実現するために有意義な役割を果たすことができると考えています。

そこで、この活動に携わる関係者との交流を図り、実践研究を進めるなかで、独自の障害者アートの拠点づくりを目指すものです。

※パラアートとは、当協会が提唱する障害者アートの呼称であり、障害者の芸術文化の振興と才能開発及び社会参加を促進させるための運動である。

## 事業の成果

### 1 「2017アジア・パラアート-書-TOKYO」

#### 国際交流展の開催

障害者アート（パラアート）の国際展である「

アジア・パラアートTOKYO」国際交流展を2009年から日中韓の3ヶ国を中心として開催してきました。本年度が4回目となる今回は、この国際交流展を通して日本の文化である「書」の魅力を国内外に発信するため、日本、中国、韓国などのアジア各地で活躍する障害者の優れた「書」の作品展示会を開催しました。

また、各界著名人の「書」作品（46点）を特別展示するとともに、開催初日には、障害を持つ書家（4名）による揮毫を実施しました。

展示会開催期間中は、多くの来場者の方々に障害者アート（パラアート）の魅力を堪能していただきました。また、この国際交流展を観覧したことにより、障害に対する理解がさらに深まったとともに、障害のある方が芸術文化活動を通じて自己を表現し、社会とより広く関わりを持つことは、その自立と社会参加をより一層促進し、ひいては、障害の有無に関わらず、お互いを尊重しながら共生する社会の実現に繋がっていくことを確認しました。

（開催期日）

平成29年11月8日（水）～12日（日） 5日間

（開催会場）

としまセンタースクエア（豊島区役所1階）

（作品展示） 98点

（国内52点、海外46点）※揮毫者分（4点）含む。

（来場者数） 延べ 1,374人

### 2 「パラアート国際交流連絡協議会」の開催

障害者芸術の国際的な関係性の構築を図る「パ

「パラアート国際交流連絡協議会」の日中韓の3ヶ国の連携組織である協力委員会を、今回の国際交流展開催に合わせ、日中韓の代表者（中国は代理参加）が集まり、第2回目となる協力委員会を開催しました。

会議では、日本及び韓国から過去1年間の国内外の活動報告があり、引き続き、「2020パラアートTOKYO（仮称）」国際交流展の開催実現に向けて、今後の展示会の開催予定などの活動計画について発表がなされるなど、活発な意見交換がされ、今後のパラアート（障害者アート）の国際的ネットワークづくりのための情報発信や、パラアートを通じての国際交流の推進や、世界の障害者の生活の質を高めることの重要性などを確認しました。

- （開催日） 平成29年11月8日（水）
- （開催会場） 豊島区役所5階会議室
- （出席者） 9名（日本、中国、韓国）

## 成果の広報・公表

### <「2017アジア・パラアート-書-TOKYO」国際交流展の広報等>

- 1 日本チャリティ協会ホームページ及びフェイスブック掲載
  - ・ 国際交流展の開催概要及び出品作品等の紹介などの広報活動
- 2 日本チャリティ協会広報誌「チャリティ・ニュース・クォーター」配付
  - ・ 国際交流展の開催概要掲載による広報活動（発行部数：1,500部）
- 3 国際交流展報告書（図録）作成
  - ・ 国際交流展図録送付による関係諸団体等への広報活動（発行部数：500部）
- 4 国際交流展のテレビ放映等
  - ・ NHKテレビ放映及び新聞（毎日新聞、東京新聞）掲載

- 5 「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」
  - 期日：平成29年11月23日（木・祝）～25日（土）
  - 会場：奈良県文化会館
  - 内容：パラアートコーナーの運営及び広報活動
- 6 「SEBIT 2018/東京都専門学校アート&デザイン展」
  - 期日：平成30年2月21日（水）～27日（火）
  - 会場：東京都美術館
  - 内容：パラアートコーナーの運営及び広報活動

## 今後の展開

- 1 「2018アジア・パラアートTOKYO」国際交流展の開催
  - 日中韓の3ヶ国を中心としたアジア諸国の障害者の第5回目の作品展。
  - 専門家による審査を通じ、障害特性に応じた質の高いパラアート作品の展示。
  - 期日：平成30年11月予定（会期 5日間）
  - 場所：としまセンタースクエア
- 2 「パラアート国際交流連絡協議会」の開催
  - 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせ、「2020パラアートTOKYO（仮称）」国際交流展の開催実現に向けて、協力委員会を今後も継続的に開催しながら、障害者芸術の関係性の構築を図る「パラアート国際交流連絡協議会」を開催する。併せて、日中韓の3ヶ国がそれぞれ開催する国際障害者展への作品出展や専門家派遣交流等を通じ、障害者の芸術文化の振興や発信などを行っていく。
- 3 「2020パラアートTOKYO（仮称）」国際交流展開催（予定）